

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	建設部
課室名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	3	1	186 頁

目 名
河川総務費

事務事業名称
市営急傾斜地崩壊対策事業

1. 概要

目的	急傾斜地の崩壊対策	対象		受益者	
事業概要	○市営急傾斜地崩壊対策事業・・・市が事業主体で実施した急傾斜地の崩壊対策事業 [実施地区:後大木地区(千歳町)]				

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	市営急傾斜地崩壊対策事業	対策工事	工事請負費	58,950	6,725	2,400		608	3,717	3
計				58,950	6,725	2,400	0	608	3,717	

2. 指標設定

成果指標	指標名	急傾斜地の崩壊対策		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			—	土砂災害から受益者の生命・財産を守るため		
活動指標	指標	a	事業実施		b	c		d
	数値	目標	—		目標	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
急傾斜地の崩壊対策		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 事業実施	ヶ所	1 ヶ所	14 ヶ所	1 ヶ所
b		—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
緊急の対応が必要である
対応（改善点等）
緊急時の県補助枠の拡大を要望していく

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

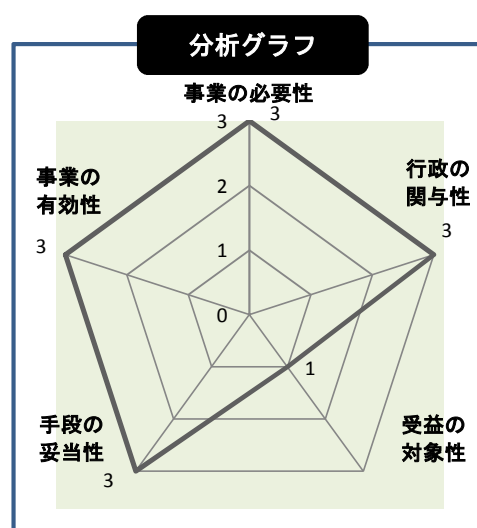
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		5,889	82,439	6,725	67,050
財源内訳	国費		59,000		25,000
	県費	2,320	4,400	2,400	5,400
	市債				
	その他	1,177	7,316	608	6,075
	一般財源	2,392	11,723	3,717	30,575
うち経常					
事業費に係る人件費		5,943	6,187	5,781	5,461

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
崩壊対策であり必要である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 受益者の生命・財産を守るため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市が事業主体である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 地元要望に対応している
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 適正に対応している



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期完成を目指すこと